



敬愛フェスティバル 今年も「♪けいたん♪」を 探しに来てください。

探してね!



敬愛フェスティバルは、10月17日(土)18日(日)に行われます。

今年も校友会は、18日に敬愛短大フェスティバル実行委員とのコラボ企画『「♪けいたん♪」を探せ』を行います。会場の各場所に隠れている「♪けいたん♪」を見つけてゴールまで来てください。ゴールではお菓子のプレゼントと輪投げかストラックアウトができるお楽しみがあります。恒例の合唱祭は10月18日(日)に行われます。後輩たちの学びの成果を見にご来場ください。フェスティバルの情報は、ホームページや校友会LINEで発信しています。ぜひ、ご覧ください。

受験生確保にご協力を

敬愛短大は、全国に58しかない認定絵本士の養成機関です。また、県内唯一のこども音楽療育士育成機関でもあります。ベビーシッター資格や准学校心理士資格の取得もできます。子どもにかかわる様々なスキルを身に着けられます。

入学試験では同窓生の推薦制度があり、入学金が半額、検定料免除の特典があります。

この制度や敬愛短大の特徴をお知り合いにお伝えください。

出願期間
Ⅱ期 11月2日～11月13日
Ⅲ期 11月24日～12月7日
Ⅳ期 12月14日～1月22日
Ⅴ期 2月12日～3月5日
詳しくは、右のQRコードから



編集後記

社会の変化とともに学びの内容に大きな変化が生まれています。敬愛短大では、地域の読み聞かせボランティアとして学生が参加したり、地域の育て世代のために学生が学んだことを伝えるワークショップをしたりしています。実学を重視した取り組みで素晴らしい学びのある母校を卒業生の皆さんから保育者を目指す方にご紹介いただきたいと思います。

校友会では、地域との連携や在学生の学びの後援を行いながら、卒業生のキャリアアップの後援も短大と協力して行います。校友会からの情報をご確認いただき、母校での学びにご参加くださいますようお願いいたします。

(事務局長 大塚孔久)

校友会LINE登録を お願いいたします

校友会では、同窓会の助成金、絵本の勉強会、キャンパス施設利用、会員の特典情報などをLINEでお知らせしています。

右のQRコードを使ってご登録をお願いします。



お便りお待ちしております!!
事務局では会員の皆様のご感想・お便りをお待ちしています。
◎郵送先 263-8558 千葉市稲毛区穴川1-5-21 敬愛サービス内 敬愛短期大学校友会事務局
Mail yoshihisaotsuka@outlook.jp(事務局長 大塚孔久)



敬愛短期大学 校友会報 Vol.34

発行日/令和8年10月1日 編集・発行/敬愛短期大学校友会 発行責任者/片山喜久子
〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21 敬愛サービス内 TEL.043-306-8964



contents

ご挨拶 ②

敬愛短期大学校友会会長 片山 喜久子
敬愛短期大学学長 中山 幸夫

敬短の輪 ③

大沼 博明
上野 菜々美

HomeComingDay ④-⑤

絵本の学習会・絵本専門士受験対策講座と助成金制度
公開講演会ご案内

地域連携の取り組み ⑥

えほんのもりへ絵本を寄贈
子育て支援ワークショップ

同窓会をしませんか。 ⑦

短大から ⑧-⑨

学生部長 教授 大野 雄子
学生会長 東 郷 綾
敬愛フェスティバル実行委員長 木村 彩花

2026 敬愛フェスティバル「星」のお知らせ

校友会事務局から ⑩

事務局長 大塚 孔久

ご挨拶



千葉敬愛学園の歴史に学ぶ

敬愛短期大学校友会 会長 片山 喜久子

令和8年5月30日、千葉敬愛学園創立100周年記念式典に参加し、改めて創立者長戸路政司先生の建学の精神と教育理念「敬天愛人」について確認しました。誰もが天から与えられた人間の尊厳性と成長する可能性を秘めており、これを最大限に伸ばし具現化することが教育の基本であるとの考えに基づき、教育者が教育される者一人ひとりを心底から敬愛する校風が確立されたのです。

敬愛短期大学校友会はその理念のもと設立された敬愛短期大学の卒業生の組織です。その誇りを胸に今後も母校創立80周年に向けて、母校と

ともに歩みを続けつつ、校友会会員相互の学びを支援してまいります。さらにその活動を次の世代へとつないで

いくことが課題です。その意味でLINEでの情報共有を含め、若い会員の皆様におおいに期待しております。今年も敬愛フェスティバルで皆様にお会いすることを楽しみにしております。



学園創立100周年を迎えて

敬愛短期大学 学長 中山 幸夫

校友会の皆様には、日頃より母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、改めて深く感謝申し上げます。

今年度、短大の母体である千葉敬愛学園は創立100周年を迎えました。5月30日には稲毛キャンパスで記念式典・祝賀会が開催され、校友会の片山喜久子会長をはじめ、多くの学園関係者とともに創立100周年の節目をお祝いする慶びの一日となりました。

100年にわたる学園の歩みの中で本学が果たしてきた役割は極めて大きく、全国に「敬愛」の名を知らしめたのは「(千葉)敬愛短期大学」であったと

いっても過言ではありません。

社会においてAI(人工知能)の利用が一気に進み、人間が行っていた様々な作業が取って代わられつつありますが、崇高な理念や精神に基づく活動や他者への働きかけ、人間としての生き方などをAIがすべて担うことはできません。学園の建学の精神「敬天愛人」は時代を超えた人間的な理念です。この理念の下で教養を受け、学び合ったことは、生涯にわたり人生を支える糧(かて)となるでしょう。

校友会の皆様には、引き続き母校へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

『敬短の輪』

敬愛短期大学で学ばれた卒業生は、教育・保育の現場で活躍されています。卒業生の声を紡ぎ「敬短の輪」を作っていきたいと思います。今回は、県外で活躍されているお2人が声を届けてくださいました。

これから教員になる皆さんへ



大沼 博明

卒業後、時間がなくてできなかったことがあります。お金の勉強、職場以外のコミュニティづくり、教育書をたくさん読むことです。1年目は学級づくりだけで精一杯で後回しにしました。

卒業から10年、長井市立豊田小学校から現在の県立村山特別支援学校へ異動し気づいたのは、異動は転職のようなもので、学校ごとに雰囲気や文化が全く違うという

ことです。だからこそ、教員以外のアイデンティティも大切だと感じています。教員は、とてもいい仕

事です。辛いこともあります。是非続けてほしいです。これから教員になる皆さんには、短大と一緒に学んだ仲間をはじめ、学級の子どもや人とのつながりをぜひ大切にしてほしいと思います。



短大での学びを力に



上野 菜々美

現在は0～2歳児クラスの担任をしています。少人数の環境を生かし、一人ひとりの子どもとじっくり関わりながら、先生方と連携して保育を行っています。学生時代は保育者になることを諦めかけたこ

ともありましたが、先生方が親身に相談に乗ってくださり、実際の現場の話を聞いたりしたことで、まずは会計年度職員として挑戦してみようと前向き

な気持ちになることができました。

短大で学んだ指導案や園だよりの書き方、記録の記入方法は、日々の業務でとても役立っています。保護者への連絡帳や子どもの個人記録では、子どもの姿を具体的な言葉で分かりやすく伝える力が求められるため、学生時代の学びが今につながっていると実感しています。



Home Coming Day

校友会では、教育・保育の現場で働く卒業生の皆さんに最新の知見を活かした教育・保育を学ぶ場づくりを現代子ども学研究所の先生方と行っています。母校で、後輩と共に学び、スキルアップに役立ててください。

「絵本の勉強会」



絵本は、保育の必須アイテムです。読み聞かせにより、子どもの心を耕し、想像力に働きかけるなどさまざまな特性を持つ子どもたちの保育には欠かせません。

しかし、どのような本を用意すればよいか、絵本を

置く環境をどのように作ればよいかはとても難しいです。

8月1日に絵本の勉強会がおこなわれました。山辺笑子先生（高洲福祉会まどか保育園）を講師に招き卒業生・在学生、近隣保育園職員が保育現場における絵本の環境づくりと絵本の活用事例について学びました。保育者を目指す高校生6名も参加してくれました。絵本を深く学べる環境がある敬愛短期大学に関心をもってくれています。

勉強会後交流会がおこなわれ、各保育園での実践や課題についての情報交換が行われました。例年、参加者からは、園に持ち帰ってすぐに使える情報が得られと好評の勉強会です。

「絵本専門士受験対策講座」と助成制度

絵本専門士受験対策講座が、8月1日に行われました。

敬愛短期大学は、県内初の認定絵本士養成機関です。認定絵本士養成機関の養成課程を履修すると認定絵本士の資格が習得できます。卒業後、3年の現場経験を経て絵本専門士の受験資格を得られます。

全国に58の養成機関がありますが、卒業後も計画的に絵本専門士合格へのステップを用意している大学・短大はまれです。この取り組みで、すでに敬愛短期大学出身者で3名の方が合格されています。複数合格者を輩出している認定絵本士養成機関もまれだといわれています。今回も絵本専門士をめざして6名

の卒業生が参加してくれました。

校友会では、絵本専門士受験者を応援するために、2024年から合格者に受験料・登録料の一部を助成する取り組みを行っております。



2026
11/23
月・祝

お問い合わせ
TEL. 043-251-6363 (代表)
kodomogaku@u-keiai.ac.jp

2026 年度「敬愛短期大学 現代子ども学公開講座」
子育て・共育ちフォーラム
～未来を育てる温かなつながり～



時間 13:00 ～ 15:00 / 会場 敬愛短期大学 2 号館 2202 教室

保育の『ヘンな文化』そのままいいんですか!?
こままでしゃべっていいのかしら?

今の保育の問題点（同じ時間にみんな並んで一緒にトイレにいかせる。運動会などの例年どおりで多すぎる行事、「ねば」「べき」にがんじがらめの頭で行う保育、子育て支援ではなく、親への「サービス」と化している施設など）を浮き彫りにします。



～愛子さんと
マメ先生が話し出したらもう止まらない～

「保育環境」「遊び」「保育者のあり方」「インクルーシブ」
について本音トーク!

定員：400 名（本学学生も含む）
参加費：無料



お申し込み

柴田 愛子先生
(りんごの木こどもクラブ代表)

私立幼稚園に 5 年勤務したが多様な教育方法に混乱して退職。OL 体験も、子どもの魅力がすてられず再度別の私立幼稚園で 5 年勤務。1982 年に「子どもが主役の 子どもの心に添う」を基本姿勢とした「りんごの木」を発足。今年 43 年目を迎える。子どもをきわめたいという気持ちはあきらめて、いまや子どもを楽しんでいる。保育のかたわら、講演、執筆と様々な子どもの分野で活動中。テレビ (E テレすくすく子育て等)、ラジオ (子育て深夜便) などのメディアにも出演。子どもたちが生み出すさまざまなドラマをおとに伝えながら、「子どもとおとなの気持ちのいい関係づくり」をめざしている。

<著書>

「保育の『ヘンな文化』そのままいいんですか!?(小学館)
「愛子先生と大豆生田先生の『保育はやっぱりおもしろい!!』(小学館)
「それってホントに子どものため?」(チャイルド本社)
「保育歴 50 年!愛子さんの子育てお悩み相談室」(小学館)
日本絵本大賞受賞「けんかのきもち」(ポプラ社)
「わたしのくつ」(ポプラ社) 他多数

大豆生田 啓友先生
(玉川大学教育学部・教授)

青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了後、青山学院幼稚園教諭等を経て、現職。日本保育学会副会長、こども環境学会副会長
こども家庭庁「こども家庭審議会」委員および「幼児期までのこどもの育ち部会」委員(部会長)、「保育専門委員会」委員(委員長代理)、保育士養成課程等検討会委員(委員長)、文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」委員、栃木県幼児教育センター顧問、よこはま☆保育・教育宣言運用協議会委員、NHK・E テレ「すくすく子育て」出演、テレビ静岡「テレビ寺子屋」出演、等

<著書>

「保育の『ヘンな文化』そのままいいんですか!?(小学館)
「愛子先生と大豆生田先生の『保育はやっぱりおもしろい!!』(小学館)
「子ども主体の保育をつくる 56 の言葉」(学研)
「大豆生田啓友対談集 保育から世界が変わる」(北大路書房)
「豊かな直接体験をベースに ICT で広がる保育」(チャイルド本社) 他多数



※ 駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



〒263-8588
千葉県千葉市稲毛区穴川 1-5-21
Google Map

地域連携の取り組み

敬愛短期大学は、地域の教育機関として地域連携活動を進めています。
校友会もこの活動に協力をしています。

えほんのものの充実

えほんのものは、国内トップクラスの14000冊を超える蔵書数を誇ります。絵本は、在学生の学びだけでなく、地域の方が利用される機会が大変多いです。また、敬愛短期大学生が行っている絵本のボランティアによる読み聞かせ活動にも活用されています。校友会では、毎年絵本を寄贈し絵本を通じた地域連携活動をお手伝いしています。

会員の皆さんで短大の図書館やえほんのものを利用したい方がいらっしゃると思います。運転免許証等写真が添付された証明書をお持ちになって、1号館2階の図書室受付カウンターで図書カード発行手続きをしてください。開館時間は、原則月曜日から金曜日の9:00～17:00です。



親子であそぶ

子育て支援ワークショップ

対象 乳幼児とその養育者

期間 2026年10月～12月
(全9回)

日時 毎週水曜日
11:00～12:00 (10:50入室開始)

場所 敬愛短期大学
1号館6階 保育実習室

参加費無料
先着30組程度

10月 21日 子育ての楽しさ、大変さを共有する (新田ゼミ)
28日 絵本の読み聞かせと絵本作り (斎藤ゼミ)

11月 4日 絵本の読み聞かせ・クレヨン遊び (久保木ゼミ)
11日 パラシュートバルーンで遊ぼう (神永ゼミ)
18日 親子で触れ遊び・光の遊び (池田ゼミ)
25日 五感や自然を大切にしたい遊び (大野ゼミ)

12月 2日 親子で楽しむ簡単おもちゃ作り・コーナーあそび (藤川ゼミ)
9日 保護者のための絵本＆手作りおもちゃの紹介 (吉村ゼミ)
16日 パネルシアター＆ふれあい遊び (酒井ゼミ)

ご参加にあたり、
詳しくはこちらをご覧ください→



活動中の安全には十分配慮いたしますが、万一の事故・けが等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
また、内容は若干変更になる可能性もございます。

お問い合わせ
TEL 043-251-6363 (代表)
kodomogaku@u-keiai.ac.jp

敬愛短期大学
総合子ども学研究所

子育て支援ワークショップ

敬愛短期大学では、学生がゼミで学んだことをもとに地域の子育て支援としてワークショップを企画する取り組みがあります。参加は無料で、各回とも人気があり、多くの方が利用されています。卒業生の皆さんも参加することができます。

子育て支援ワークショップについては、校友会ホームページやLINEでご紹介しています。

校友会では、ワークショップの運営にかかわる費用を後援することで、地域連携活動をお手伝いしています。

敬愛短期大学は稲毛に移り、地域に根差した教育機関として短大の特徴を生かした取り組みをしています。校友会も地域での敬愛短期大学の存在感を高めるために活動の後援をしております。



同窓会を 開きませんか？

一人につき
1000円
出します！

場所は
どこでもOK
(短大も使えます！)

人数は
5名から
(うち3名卒業生)

校友会では、同窓会を開く方に費用の助成や短大施設の予約のお手伝いをしています。

助成金の交付や短大施設予約希望する方は、敬愛短期大学校友会ホームページや校友会LINEでご確認ください。

校友会ホームページ <https://www.chibakeiai.ac.jp/kouyukai/>

利用可能な施設

学生食堂(1号館2階)



学生ラウンジ(2号館1階)



学生ラウンジ(3号館1階)



敬愛短期大学から

千葉敬愛学園100周年のメモリアルイヤー



学生部長・教授
大野 雄子

去る5月30日には、100周年記念式典が開催されました。100年という長い歴史の重みを胸に、これまで全力で学び、笑顔で卒業していかれた皆さんの姿を思い返しながら、今もそれぞれの場所で元気に活躍されていることを嬉しく思っています。

今年の「2026敬愛フェスティバル」のテーマは、「星」～100周年の輝き～。これまで以上に多くの卒業生の皆さまと再会できますことを、心より楽しみにしています。

さて、ここで敬短の近況をご報告いたします。今年度は111名の新生を迎え、千葉市動物公園でのオリエンテーションからスタートしました。新生がチューターへ寄せる信頼は、今年も変わらず温かく、心強いものです。

6月には2年生が教育実習へ、1年生は保育施設で「遊び体験」を行いました。「遊び体験」はスタートアップゼミの一環として、子どもたちと全力で遊ぶ経験を通し、保育観を深めていく大切な学びの機会です。

7月にはレクリエーション大会とダンス発表会が開催され、クラスの結束は一段と強まりました。さらに、千葉市との相互連携協定のもと実施した「劇遊びプロジェクト」では、1年生が市内11か所の保育所と附属幼稚園を訪問し、劇を披露しました。子どもたちのかわいらしい笑顔、学生たちの達成感に満ちた笑顔、そして引率教員の温かな笑顔。沢山の笑顔が広がる、かけがえのない時間となりました。

「より良い学校づくりを目指して」

学生会では、より良い学校づくりを目指し、学生一人ひとりの声に耳を傾け、困っていることや要望にできる限り迅速に対応できるよう取り組んでいます。また、クリスマス会など、学生の皆さんが楽しく充実した学校生活を送れるようなイベントも企画しています。これからも学生の皆さんに寄り添いながら、より良い学校づくりに向けて精一杯活動してまいります。



学生会会長
東郷 綾(2年)

「輝く敬愛フェスティバル」

本年度の敬愛フェスティバルは、大学との合同開催3年目となり、毎年進化を重ねています。今回のテーマは「星～100周年の輝き～」です。「これまで地域とつながってきた学園100周年の節目に星のように輝きたい」という意味が込められています。輝く敬愛フェスティバルを目指し、実行委員会一丸となり、頑張ります。



敬愛フェスティバル実行委員長
木村 彩花(2年)

2026 敬愛フェスティバル

家族みんなで楽しめる2日間

お子さんが遊べる場所がたくさんあります★

1日目

10/17 土

10:00～17:00

1日目の企画

pickup! 15:00～
お笑いライブ
観覧無料 会場：敬愛アリーナ

- ★〇×クイズ
- ★特別講演会 藤井 郁美氏
(元車いすバスケットボール日本代表)
- ★ピアノ演奏会
- ★大道芸パフォーマン
- ★腕相撲大会

※出演者は都合により、変更になる場合がございますのでご了承ください。

2日目

10/18 日

10:00～18:00

18日同日開催 稲毛区民まつり
時間：10:00～15:00
メイン会場：穴川中央公園

2日目の企画

pickup! 13:30～
合唱祭

エンディングイベント
豪華景品が当たるチャンス!
16:00～**ビンゴ大会**
17:40～**ランタン企画**
会場：敬愛アリーナ

- ★よさこい
- ★ダンス (千葉敬愛高校ダンス部・有志団体他)
- ★カラオケ大会
- ★空手演武

飲食出店も充実!
キッチンカーや模擬店で
色々なグルメを楽しもう!

キッズスペース併設
飲食スペースで
ほっと一息★

両日開催

- ★お化け屋敷
- ★スタンプラリー・シールラリー
- ★フォトスポット
- ★キッズバスでお絵かき
- ★子ども遊び場 (超大クラス出店) ★ふわふわサバゲー
- ★ダンボールで遊ぼう
- ★逆バンジー
- ★バールンスライダー
- ★敬愛大学軽音学部ライブ

懐かしい先生や仲間と再会
★卒業生のしゃべり場
ゆっくりお話できる
交流スペースをご用意しています。

★18日(2日目)限定!
校友会によるストラックアウト・輪投げ

ご家族でのご来場も大歓迎です!

会場

敬愛大学・敬愛短期大学
〒263-8588 千葉市稲毛区穴川 1-5-21
JR 稲毛駅 東口徒歩約13分
※駐車スペースはございませんので、
公共交通機関をご利用のうえご来場ください。

敬愛フェスティバル
Instagram

詳細は
こちらから

KEIAIFES.2026

敬愛短期大学
ホームページ

※本イベントの詳細は、ホームページやSNSにて随時更新いたします

～お問い合わせ～
敬愛フェスティバル実行委員会
Eメール keiaifes@u-keiai.ac.jp